

■ 八ヶ岳・葦崎エリア



海岸寺の石仏



北杜市

葦崎市



高龍寺

総門から本堂へ続く参道は長さ220m。武田家ゆかりの山高越後守信之が天文元年(1532)に山高氏の菩提寺として開いた。本堂は江戸初期、鐘楼は天保年間(1830~43)の建造。当時の鐘は大战の供出で失われたが、古文書に基づき再現された。

■北杜市武川町山高2480
■0551(26)2743



- 甲斐七福神めぐり 北杜市
- 福 禄 寿 高福寺 北杜市小淵沢町
 - 弁 財 天 山梨銘醸 北杜市白州町
 - 恵 比 寿 萬休院 北杜市武川町
 - 寿 老 人 高龍寺 北杜市武川町
 - 大 黒 天 妙林寺 北杜市長坂町
 - 布 袋 尊 清光寺 北杜市長坂町
 - 毘沙門天 道喜院 北杜市大泉町



北野天神社

延喜15年(915)に日本武尊を祀り山宮天神としたという鎮座1100年の古社。永延元年(987)、京都北野天満宮から菅原道真の神霊を分祀、改名した。奉納250年の歴史を持つ大和神楽は市指定文化財。

■北杜市小淵沢町3349
■県指定文化財：鯉口

海岸寺

行基が庵を構えたことに始まり、天平9年(737)には聖武天皇から「光明殿」の勅額を賜ったと伝えられる。境内には、長野県高遠の石工・守屋貞治(1765~1832)の手による石仏およそ100体が佇んでいる。

■北杜市須玉町上津金1222
■0551(46)2017



清光寺

七堂伽藍のうち仏殿を除く六堂を備えた禅院建築の様式を伝承。仁平元年(1151)、武田家の祖、逸見玄源太清光が創建。総門は高麗様式で高さ10m強。武田勝頼が長篠の合戦の前に発給した「勝頼の制札」を保存。

■北杜市長坂町大八田6600
■0551(32)2263



清泰寺

平安時代末、新羅三郎義光の子・義清が開基となり天台宗の寺として創立。文明6年(1474)、雲鷹玄俊によって再興された。石段脇のカヤの大木はその時植えられたという。境内の石仏・馬頭観音は市指定文化財。

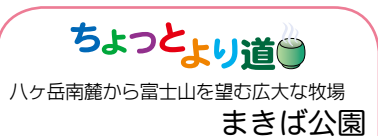
■北杜市白州町花水1461
■0551(35)2720
■県指定天然記念物：カヤ



実相寺

永和元年(1375)、実相院日応という日蓮宗の僧が真言宗の寺を改宗した。武田信玄の時代に、現在地の寄進を受け移転した。創建以来2度の火災に遭う。神代ザクラのほかにも桜の古木が30本ほど残っている。

■北杜市武川町山高2763
■0551(26)2740
■国指定天然記念物：山高の神代ザクラ



八ヶ岳南麓から富士山を望む広大な牧場
まきば公園
北杜市大泉町西井出8240-1
☎0551(38)0220




下教来石諏訪神社

国道20号線沿いにある神社。御朱印山にあった諏訪明神を元和3年(1617)、現在地に社殿を建て遷座した。本殿は諏訪立川流二代、立川和四郎富昌の作品として知られ、見事な彫刻が施されている。

■北杜市白州町下教来石22-1
■県指定文化財：本殿 附棟札
■駐車場無し



実相寺の神代ザクラ
境内の「山高の神代ザクラ」は樹齢2000年以上といわれるエドヒガンで国指定の天然記念物。境内には桜の古木が多く、チューリップや水仙なども植えられ、春は花を楽しむ観光客で賑わう。

P 81 



金刀比羅神社の巫女舞

文政年間(1818~30)に地区の金刀比羅神社の秋祭りに舞われたものが発祥といわれる。下木戸地区から「おんねり」と呼ばれる巫女行列が上木戸地区の金刀比羅神社に向う。巫女の舞は、仁の舞、剣の舞、弓の舞、神の舞がある。巫女の冠の下に付ける「サンザラ」が、芸能の古さを物語る。県指定無形民俗文化財。



逸見神社

甲斐源氏の祖・新羅三郎義光が草創したという。その孫・逸見冠者玄源太義光が谷戸城築城の際、現在地に移し、逸見氏代々に崇拜された。武田信玄が川中島の合戦の際、社地2400坪を寄進したと伝わる。

■北杜市大泉町谷戸1143



神部神社

大宝元年(701)の創立。武田家は北方の守護神として崇敬し神像鏡を奉納している。徳川家からの信仰も篤く、社領を寄進している。本殿は慶長18年(1613)建立と伝わる。拝殿には素朴な狛犬が並ぶ。

■北杜市須玉町小尾3805
 ■0551(42)2816(十五所神社)
 ■県指定文化財:本殿 附棟札、蔵王権現鏡像



金刀比羅神社

文化2年(1805)、四国の金刀比羅宮の分霊を勧請して創立。境内裏手のヒメコマツ(五葉松)は幹周り3m樹高29mの巨樹で県内でも最大級。おんねりと巫女舞は10月1日の前後の日曜日に行われる。

■北杜市高根町箕輪新町1081
 ■県指定天然記念物:箕輪新町のヒメコマツ 県指定文化財:箕輪新町のおんねりと巫女舞
 ■駐車場無し



比志神社

創設は大宝元年(701)といわれる古社。正長元年(1428)、現在地に遷座、その後、本殿を修造。本殿は飛騨の匠の作とされる。県指定天然記念物の大スギは根回り約12m、樹齢600年といわれる。

■北杜市須玉町比志872
 ■県指定文化財:本殿 附棟札 県指定天然記念物:大スギ



熱那神社

かつてこの地域を熱那の庄といい9つの村の総鎮守として崇敬されてきた。武田信玄や徳川家康も神領を寄進している。太々神楽は北杜市指定無形民俗文化財。境内東側のサクラの古樹も市の天然記念物。

■北杜市高根町村山西割1714



ちよつとより道

日照時間日本一の花の楽園
 山梨県フラワーセンター
 ハイジの村

北杜市明野町浅尾2471
 ☎0551(25)4700



根古屋神社

増富ラジウム温泉に向かう道沿いにある。武田信満(信玄の6代前)の三男・江草信泰の居城・獅子吼城の西北に、城の守護神として建立された。約6km南には県立フラワーセンターハイジの村が広がる。

■北杜市須玉町江草5336
 ■国指定天然記念物:大ケヤキ



若宮八幡大神社

文政年間(1818~30)に現地に遷座したと伝わる。毎年8月14日の夜に行われる「稚児の舞」は、「御幣と鈴」「剣と鈴」「弓」の3番からなり、10歳になった氏子の少女によって奉納される。北杜市指定無形民俗文化財。

■北杜市長坂町長坂下条1067



宇波刀神社


延喜式の式内社とされる。甲斐源氏からの崇敬篤く、徳川家も代々社領を寄進したという。背が低く安定感のある石鳥居は県指定文化財。鳥居の柱には貞観6年(864)の銘が残されている。

■北杜市明野町上手937
 ■県指定文化財:石鳥居 ■駐車場無し



根古屋神社の大ケヤキ

境内には樹齢千数百年といわれる一対のケヤキの巨木がそびえ、それぞれ「田木」「畑木」と名づけられている。かつて地元の人々は、この両巨木の春の芽吹きの高さによって、その年の豊凶を占ったという。田木が早ければ稲が豊作に、畑木が早ければ畑の作物が豊作になる。一対で国の天然記念物に指定されている。

P 85 



願成寺の阿弥陀三尊像

中央の阿弥陀如来坐像は像高146cmの寄木造りの漆箔像。左脇侍は観音菩薩立像、右脇侍は勢至菩薩立像。台座や光背を含めて鎌倉初期の作を伝えている。拝観には予約が必要。

ちよつとより道

和菓子店 うさぎやの
白うさぎ



韮崎市本町1-11-4
☎0551(22)0273



が ん じ ょ う じ
願成寺

宝亀2年(771)、京都祇園寺の末寺として開かれ、武田氏の祖・武田信義が諸堂を整備した際、京都から阿弥陀三尊像を迎えて本尊とした。織田信長の兵火に伽藍は焼失したが仏像は無事だった。山門の山号額は、後白河天皇が宋僧・奝安に書かせ下賜されたもの。

- 韮崎市神山町鍋山1111
- 0551(22)3118
- 重文:木造阿弥陀如来及両脇侍像



まんぶくじ 満福寺

武田氏の祖先・武田信武の子・義武が穴山を領し穴山氏と名乗り、菩提寺として建立した。一時衰退するが、文亀2年(1502)に復興、穴山信君(梅雪)の寄進によって栄えてきた。穴山氏の墓は韮崎市指定文化財。

■ 韮崎市穴山町1509
■ 0551(25)5485



じょうこうじ 常光寺

武川衆・青木十郎常光が開基。常光の子孫で、武田信繩・信虎・信玄の三代に仕えた尾張守満懸が曹洞宗寺院として中興開基した。甲府藩主・柳沢吉保ともゆかりが深い。青木氏の墓所は韮崎市指定文化財。

■ 韮崎市清哲町青木2878
■ 0551(22)2014
■ 県指定文化財: 絹本着色柳沢吉保像ほか2点、紙本着色達磨図

常光寺の桜

春にはさまざまな桜がうす桃色の花を咲かせる。



新府城本丸跡

武田勝頼が築いた戦国時代末期の城郭跡。武田家最後の城。築城するも、織田勢に攻められわずか68日で勝頼自らが火を放ったという。本丸跡の近くに藤武神社が建っている。



だいくじ 大公寺

足利一族の一色太郎範氏を開基に観応元年(1350)に開かれたという。足利氏の没落と共に荒れ果てたが、玄室慶参和尚が曹洞宗に改宗して復興した。江戸時代には広大な土地に大伽藍があった。

■ 韮崎市旭町上條南割1961
■ 0551(22)0577

ふじたけじんじゃ 藤武神社

新府城跡にあり「お新府さん」と呼ばれ親しまれている。文化3年(1806)の拝殿改築の棟札によると、藤井庄と武田庄を見下ろすところにあつたので、その名がついたという。4月の例祭では、神輿が249段の石段を一気に駆け登る。

■ 韮崎市中田町中條4787



しずりじんじゃ 倭文神社

珍しい名前だが全国にあり、機織りの神様を祀っている。甲斐国の式内社の一つとされる。この地方では4世紀頃から馬の生産が盛んで、本殿に2頭の小さな木馬が秘蔵されている。妊婦の守護神としても知られる。柳平の倭文神社は宮久保の山宮。

■ 韮崎市穂坂町宮久保6051
本宮倭文神社: ■ 韮崎市穂坂町柳平3195



武田八幡宮の拝殿と本殿

武田家の氏神。天文12年(1543)に武田信玄が社殿の再建をしたと記録に残る。三間社流造り。

 P 94



ただちはちまングウ
武田八幡宮

弘仁13年(822)、嵯峨天皇の勅命で宇佐八幡を勧請して創建したという。武田家の祖・信義が氏神として仰ぎ、以後、武田家の崇敬を受ける。10月中旬に例祭があり、神輿、神楽の奉納がある。

- 韮崎市神山町北宮地1185
- 重文:本殿 県指定文化財:石鳥居、二の鳥居、末社若宮八幡神社本殿、武田勝頼夫人北条氏祈願文

P 92



わかみやちはちまングウ
若宮八幡宮

韮崎駅にほど近い市街地にある。仁和年間(885~889)の創建と伝える天正13年(1585)の棟札(市指定文化財)が残されている。毎年7月30日の例祭では、伝統行事の「茅の輪くぐり」が行われる。

- 韮崎市若宮1-4-14
- 0551(22)1727



ほみじんじゃ
穂見神社

神亀元年(724)創立という。中世には苗敷山権現といわれた山岳信仰の神社。現在地のは里宮で、本宮が苗敷山(旭山)の山頂にあり、参道の途中に幹周り3.5m、樹高30mのアスナロが天をつく。

- 韮崎市旭町上條南割3388
- 県指定天然記念物:苗敷山のアスナロ
- 駐車場無し

八ヶ岳・韮崎エリア モデルコース

石仏と石鳥居めぐり



八ヶ岳・韮崎エリア

